



お元気ですか！

志村 たかよし です

第881号 2018年3月18日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

心ひとつに ひびけ歌声！



昨年の合唱コンクールのポスター

3月10日、佃中学校「第29回合唱コンクール」が、体育館で開催されました。

演奏前に校長先生から「みなさんは練習しながら心ひとつになりました」「今日は73年前に東京大空襲があった日です。明日11日は、東日本大震災があった日です。歌は苦しんでいる人々に明日への希望を与えました。みなさんもそのことを思いながら歌ってください」という内容の話がありました。

「上手に歌ってください」とは言わなかったのです。

見た目を大事にする「どこかの校長」とは大違いですね。

実際に、生徒たちの演奏は心ひとつになり、しっかりと私の心に届く演奏でした。

そのなかでも、2年生の合同演奏「名づけられた葉」は、気持ちと息がそろった深みのある響きで聞きごたえがありました。

2年C組の演奏は、きつちりと伸ばした音に、みんなの気持ちが乗って心地よく伝わり、もともとと聞いていたいと思わせる演奏でした。

3年C組によるアカペラ（無伴奏）の黒人霊歌は、そのチャレンジに驚くとともに感動しました。

合唱コンクール演奏曲

1年生の部

学年合唱・課題曲「COSMOS」
自由曲A組「時を超えて」
B組「僕らの奇跡」

2年生の部

学年合唱・課題曲「名づけられた葉」
自由曲A組「友へ旅立ちの時」
B組「ヒカリ」

3年生の部

学年合唱・課題曲「大地讃頌」
自由曲A組 組曲「未来への決意」から「決意」
B組「蒼鷺」
C組「Soon ah will be done」



池辺晋一郎氏の指揮で
歌いました



音楽祭のチラシ

3月9日、「東アジア平和音楽祭」が新大久保の淀橋教会インマヌエル礼拝堂でおこなわれ、私は、合唱組曲「こわしてはいけないう無言館をうたう」を、作曲した池辺晋一郎さんの指揮で歌いました。

8カ月間の練習に十分参加できませんでしたが、本番は平和への熱い思いをこめて歌いました。

当日は、合唱のほかに、琉球舞踏、東京朝鮮中高級学校合唱部、都立新宿高校音楽部、中国人の鮑捷さんの琵琶と王晶さんの二胡演奏、韓国人の金オルさんの伽耶琴独奏などがあり、感動に次ぐ感動でした。

演奏後に、朝鮮と日本の高校生たちがメルアド交換しているのを見てまた感動しました。

音楽って素晴らしい！

市街地再開発の間⑪ のっけから、区が再開発を呼びかけ

不動産業者やデベロッパーが主催する「まちづくり勉強会」と聞けば、「地上げによる大規模開発の話かな」と思う方は多いでしょう。

一方、中央区が主催する「まちづくり勉強会」と聞けば「どういう街を作るのか」と住民がいっしょに考える」のではと思うかもしれません。

市街地再開発事業の出発点であり区が主催する「まちづくり勉強会」は、どのようなものでしょうか。

まず、「㊸勝どき駅前南側地区」を見てみます。

区の「通知」で再開発事業を示唆

再開発区域にあたる「地権者」と「権利者」の方たちに「地権者各位」宛の通知（10月17日付）が中央区都市整備部長名で届きました。

その通知文には「一部の方から、再開発事業を前提としたまちづくり検討会を行いたいという御意見をい

ただいております。」「区としましても、勝どき地区全体のまちづくりにつながる検討を進めていくことが重要だと考えており、積極的に支援していきたいと考えております。」と書いてありました。

第1回目から再開発事業に誘導

そのわずか4日後（10月21日付）に、都市整備部長名の通知が、またもや権利者の方たちに届きました。

それは「まちづくり勉強会への参加のお願い」というものでした。

最初の通知から約3週間後の11月11日と12日に勉強会をやるということです。とても段取りが良いですね。

第1回勉強会のテーマは、

- ①まちづくりの比較について
 - ②再開発事業の事例について
 - ③再開発事業の仕組みについて
- となっています。

○住民から再開発の意見が出ている。

○区としても重要だと考えている。

○住民のみなさん再開発を検討しましょう。

ということ、再開発という結論をはじめから区が示しているのです。

八丁堀三丁目地区でも

下段は、「㊸八丁堀三丁目地区」の「第1回勉強会」の資料の最初のページです。

1ページ目に「再開発事業等のまちづくり手法を活用しながら」と書いてあるように、この地区でも第1回目から「再開発」の方向性が示されています。

勝どき駅前南地区の勉強会では「勉強会の最初に再開発の事例を取り上げるのは、大変誘導的な進め方で、結論を先に持ってきている」と批判の声が出されました。

まさに、「誘導的」な始め方です。区は、どのように勉強会を進めているのでしょうか。

〈文中㊸㊹は「表7」（875号）で私が再開発事業に付けた番号です〉

（つづく）

1 はじめに ー八丁堀三丁目地区 まちづくり勉強会の開催にあたってー

中央区は、日本の文化・商業・権力の中心として繁栄・発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。近年本区では定住人口回復施策の取組みにより、約7万2千人（平成9年4月時点）にまで減少した人口は約14万6千人（平成28年6月時点）にまで増加し、区を取り巻く環境は大きく変化しています。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、区は大きな転機を迎えます。

こうした状況の中、現在では、区と市民のまちづくりの意欲が、区における総合的かつ計画的な行政運営の指針となる新たな基本構想を、平成29年度に策定するために検討を開始しています。基本構想は20年後の中央区の変容を示すものです。それぞれのまちのあり方や将来像を描いていくことはもとより、基本構想の実現に向けた区の公共施設の適切な活用が求められています。

今回まちづくり勉強会の対象地区とさせていただいた八丁堀三丁目地区には、本区の公共施設である京華スクエアがあります。京華スクエアは数路線小学校との統合（現在の中央小学校）により廃校となった京華小学校を平成13年から暫定利用しており、21世紀の産業振興と地域社会への貢献を目的とした複合施設として活用しているところです。

公共施設の有効活用の観点からも当該施設の本格的な建物利用を検討すべきところですが、第40年度以上経過し建替え時期を迎えていることもあり、本格的な有効活用が困難な状況となっています。

本区としては、京華小学校時代から地域のコミュニティ形成の中心的役割を担ってきた京華スクエアのあり方を皆様とともに検討し、再開発事業等のまちづくり手法を活用しながら、京華スクエアの周辺と一体的なまちづくりを通じて、健全な市街地の更新と快適な都心コミュニティの形成を推進していきたいという考えを持っております。

この勉強会を通して、皆様のご意見を伺いながら、八丁堀エリアにとって新しい土地利用及び公共施設づくりの発展策を考えていきます。

八丁堀三丁目地区の資料

以上が経過し建替え時期を迎えて、有効活用が困難な状況となっています。

（図）八丁堀三丁目地区のまちづくりの方向性

- 京華コミュニティセンター
- 中央区シルバー人材センター
- シルバークロスタ
- 早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校
- 中央交通事故相談所
- 町会会議室・防災センター

下線は筆者